



胸骨圧迫、正しくできますか？

肋骨骨折感を触覚で提示する胸骨圧迫シミュレータ

技術分野分類 1203 ヒューマンインターフェース・インターラクション

技術キーワード (3) ヒューマンコンピュータインターラクション

産業分類 E27：業務用機械器具製造業

内 容	概要	心肺蘇生のための胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行う際、誤った部位を圧迫した場合に発生する肋骨骨折現象を触覚により提示することにより、映像フィードバックに頼らず技術習得をサポートするシミュレータを開発した。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	学習補助機能付き胸骨圧迫シミュレータでは、しばしば映像情報による補助が行われる。しかし映像に頼った学習を行うと、実際の現場では映像による補助が得られないため誤った部位を圧迫しやすい。本システムでは視覚ではなく触覚によるフィードバックを行い、より現場に近い状況で学習できる。
	本技術の有用性	胸骨圧迫技能学習の初心者が一般的なシミュレータで学習した後、現場での状況との乖離を埋める役割を果たし、圧迫部位に関する学習効果を高めることができる。
関連情報 (図・表・写真等)		  <p>システムのコンセプト</p> <p>試作システム</p>
適用可能製品		学習補助機能付き胸骨圧迫シミュレータ
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	柳田 康幸 (やなぎだ やすゆき) 名城大学 情報工学部 情報工学科 教授
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 052-838-2036/052-833-7200 sangaku@ccml.meijo-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2017年10月16日